

当院における股関節撮影条件の検討

中西 渉

高山赤十字病院 放射線科

抄 録：

【はじめに】当院における一般撮影系ではCRによるデジタル撮影を使用し、撮影条件は以前のS/F系の条件をそのまま使用していた。また、S/F系を経験していない技師の撮影条件に対する意識が薄れてきており、被写体厚や年齢の違いを考慮せず同一の撮影条件で撮影している頻度が高くなっている。我々は技師の撮影条件に対する意識を高める意味も含め、撮影条件の再検討を行うこととし、今回は被ばくの影響が大きい股関節撮影における撮影条件の設定を行った。

【検討項目】①股関節撮影における想定被写体厚を3つ定めそれぞれの撮影条件を定める。②新しく定めた撮影条件と既存の条件の入射線量、S値のバラつきの比較を比較して評価する。

【結果・考察】股関節の撮影条件を新しく設定することで、技師間によるS値のバラつきが減少した。また、S/F系を経験していない技師の撮影条件に対する意識が高められた。